

Monju.TIMEZ

文殊ノ会 会報誌

Topics.

半期アップで
初夏を
勝ち抜く

6
2026年
月号

 文殊ノ会

Monjunokai as a Platform in Kobe

Topics.

半期アップで 初夏を勝ち抜く

1. 省エネと電力見直しで夏コストを抑える

電力需要が高まる初夏～夏は光熱費が負担になる時期です。空調運用の最適化、照明のLED化、タイムシフトによるピークカットなど、即効性のある省エネ策を優先的に実行しましょう。補助金や省エネ診断を活用すれば初期投資の負担も抑えられます。

2. 梅雨～夏のシフト最適化

訪日客の増減や海外サプライチェーンの影響で需要が不安定化する昨今、シフト運用も国際動向を織り込む必要があります。多言語対応スタッフや短期の交代要員を確保する一方、海外拠点やリモート人材との連携でピーク時の業務を補完するハイブリッド運用を検討しましょう。季節変動と国際リスクを想定した柔軟シフトが、サービス品質と労務コストの最適化につながります。

3. 中小企業のための「半期レビュー術」

年度始めの計画から数ヶ月経った今、主要KPIを確認して現状と狙いのズレを早期に修正しましょう。部門別の数値分解と月次ミーティングで課題を可視化し、優先度の高い施策にリソースを集中する短期アクションを設定することが、下半期の成果を左右します。

4. 夏に向けた採用・研修のラストチャンス枠

夏期の人手需要に備え、インターンや短期採用を逆に採用の入口に変える仕組みを作りましょう。短期研修で業務理解を深めさせ、即戦力化プランを用意することで、夏の繁忙期を乗り切ると同時に長期雇用につなげることが可能です。